



はじめよう!「親の学び」プログラム

お父さんお母さんへ
子育て、楽しんでいますか？ 子育ての悩み、困っていることはありませんか？

家庭教育を支援するため、県教育委員会は、「くまもと『親の学び』プログラム」を作成しました。このプログラムは、乳幼児期の子どもを持つ保護者をはじめ「親の学び」をスタートする保護者を対象とした家庭教育の参加型講座です。

このプログラムで、お父さん、お母さんが、家庭で大切にしたいことに気づいたり、子育てに前向きな気持ちを持てるようになります。自信を持って健やかな子どもを育てていこうという意欲を高めたりする1つのきっかけになればと思います。



この「親の学び」プログラムをあなたも体験してみませんか。
子育てのコツを、一緒に学んでみませんか。

大津町はこのプログラムを利用した学習会を推進していきます！



どんな内容？どんな方法？

「親の学び」プログラムの流れ

参加体験型の学習スタイルで、子育てのコツを身近な話題から楽しく学びます。

- 1 「活動のねらい」を確かめます
- 2 アイスブレイクをします(簡単なゲームで、心と体をほぐします)
- 3 グループで活動をします
- 4 「活動のまとめ」をします(活動を振り返り、まとめます)

いつするの？

子育てサークルの場で
保育所や幼稚園の懇談会で など



このプログラムについて詳しく知りたい人は、
菊池教育事務所にお問い合わせくださいね。
菊池教育事務所 ☎0968(25)4237

陣内幼稚園でプログラムが開催されました

「親の学び」プログラムを5月16日、幼稚園で初めての取り組みとして、年長組保護者を対象に、陣内幼稚園で開催しました。子どもに望むこと、わが子自慢、上手なほめ方や叱り方のひと工夫、基本的生活習慣を身につけることの大切さなど、楽しい雰囲気の中であつたという間に時間が過ぎました。保護者同士のつながりも深まつたようです。町の全てのパパとママが、一人で抱え込まないよう子育てをしてほしいと願っています。



町では資源リサイクルの推進、ごみの減量と、処理費用削減のために、再生資源集団回収(以下、集団回収)の推進を図っています。

このように集団回収は再資源化の面でも費用の面でも非常に効率的な手段です。また、補助金や資源物の引取料金は団体の運営資金として使用でき有効です。

循環型社会をめざして

このように集団回収は再資源化の面でも費用の面でも非常に効率的な手段です。また、補助金や資源物の引取料金は団体の運営資金として使用でき有効です。

★町中心部の集団回収を行っています

平成22年度の大津町全体のごみ処分量は約5,758トンでした。このごみを処分するのに総額3億8,600万円、町民一人当たり約1万2,200円の費用がかかることがあります。これに対して、町指定ごみ袋の売り上げによる収入を町民一人当たりで計算すると約1,100円になり、約1万1,100円を税金で賄つてすることになります。

★集団回収のメリット

町では、この費用を少しでも削減するよう取り組んでいます。ビン・缶や新聞紙などの資源物では、子ども会や自治会などの集団回収を推進しています。昨年度も67団体に対し、合計700万円程度の補助を行いました。その結果、古紙類・缶類・布類合計444トン、ビン類合計6万3千本、その他のビン類18トン、ペットボトル7・3ト

※各月の回収日は、広報おおづの「再生資源集団回収活動団体の紹介」のページ(裏表紙の前にあります)に掲載していますので、ご確認ください。

町中心部に住んでいる人は、ぜひ循環型社会の実現に参加してみませんか？

灯油の処分に困ったときは…

古くなった灯油を使用すると、着火不良や不完全燃焼を起こし、ストーブなど、器具の故障の原因となります。家庭用の灯油はシーズン中に使い切るよう計画的に購入し、計画的に使用しましょう。

灯油は、引火性があるので町のごみ収集では「適正処理困難物」となっており、ごみステーションへ出したり、処分場へ持ち込むことができません。ガソリンスタンドなどの販売店では、少量でも灯油の無料回収を行っている店舗もあり、回収された灯油は専門業者によってリサイクルされています。

もし余った灯油を処分したい場合は、お近くのガソリンスタンドにご相談ください。

■集団回収年間予定実施日

協力団体	NPO法人里山まもり隊・どんかっちょ
実施日	4月、6月、10月、12月 平成24年2月の第2土曜日 午前9時～午前11時 (天候不良の場合は翌日の日曜日)
協力団体	商工会女性部
実施日	5月、7月、9月、11月 平成24年1月、3月の第2土曜日 午前9時～午前11時 (天候不良の場合は翌日の日曜日)